



関門地区	3,318世帯	6,702人 ↓
中央地区	2,978世帯	4,974人 -
令和6年3月31日現在		



市民センターとくやま 周南市飯島町1-13 TEL 22-8875 FAX 22-8813

第26回 さくら街道祭りを開催

2019年3月以来、5年ぶりにさくら街道祭りを開催することができました。また、徳山小学校グラウンドを会場にしたのは久方ぶりでした。当日は、私たちが期待していた「満開の桜」とはいきませんでした。来場者は1,500人を超えるほどのにぎわいになりました。



この写真は4月4日に撮影しました

グラウンドの中には、当コミュニティ団体のコーナーをはじめ、地域内外から出店されたフリーマーケットや青空市場のコーナー、市民センターで活動している子ども茶道教室や将棋教室のコーナー、そして、メイン会場のステージでは、徳山小学校や岐陽中学校吹奏楽部の演奏、市民センターで活動している講座生を中心としたグループの演技など、終日、楽しいステージ発表が続きました。そして、最後の締めには皆さんが楽しみにしておられたもちまきと、最後の最後まで盛り上がった一日でした。



ステージ前でくつろぐ来場者の皆さん



講座生の発表 周南誠友会&我ッ彩

最後の締め もちまき



岐陽中学校吹奏楽部の演奏



子ども将棋教室コーナーで楽しむ参加者

『きずな会』解散・中尾千恵子会長ありがとうございました

「きずな会」は、地域住民の教養の向上、地域文化の発展に寄与することを目的とし、地域参画協議会の一端を担うため発足しました。これまで、目的達成のため市民センターの各種学級、講演会、研修会を通じ、講座生で構成する会員相互の連絡・協調に関する活動を行ってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による交流機会の制限や講座生の高齢化に伴い、きずな会単独では従来通りの活動を行うことが難しく、地域団体の協力を求めるようになりました。このような状況から「きずな会」の継続は難しく、これまでの「きずな会」の活動を市民センターが事務局として引き継ぐこととなりました。

今後は、地域参画協議会並びに徳山小学校区コミュニティ推進協議会と講座間で連携・協力することとして、大変残念ですが「きずな会」の解散に至りました。

そこで、長年にわたって「きずな会」の会長を務めてこられた中尾千恵子さんにお話を伺いました。

Q1. 中尾さんはいつから会長をされてこられましたか？

昭和57年か58年だったと記憶しています。（今から42年前になりますね）

Q2. 思い出に残っていることはありますか？

今で言うとセンター祭りですね。昔は、「きずな祭り」と言っていました。初めの頃は4～5人という少ない人数で準備をしていました。少人数でしたが、みんな張り切ってやっていました。平成4年に現在の市民センターが建て替わって、現在、パッチワークの講師をしている佐藤さんたちが加わって、お肉を買って食材を作ったり、クッキーを作ったりして、だんだんにぎやかになってきました。来場者の皆さんのために、くじを用意するのも大変でしたが、みんなでワイワイ楽しくやっていました。

また、きずな会の研修旅行も思い出に残っています。昭和の頃は、食材を持って大津島でバーベキューをしたこともありました。また、1泊2日で研修旅行に行ったこともありました。島根県の出雲の視察や足立美術館に行ったことは今でもよく覚えています。



Q3. きずな会の解散にあたって、皆様にお伝えしたいことは？

今まで講座生の皆様から励ましの声や助言をいただいたりして、長い間、皆様に支えられてこられたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

よろしく申し上げます

この度、中央地区市民センターの主事を務めさせていただくこととなりました 神谷正幸
(かみや まさゆき) と申します。



私は昭和47年3月に徳山小学校を卒業し、生まれ育った地域の発展のため少しでもお役に立ちたいと思っております。

皆様のご協力、ご指導よろしく申し上げます。

市民センターへお越しの際はお気軽にお声かけください。

お知らせ

コミ&市民センターだより
「きずな」は奇数月に発行し、年間6回発行する予定です。

配布していただく自治会担当の方には大変ご苦勞をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、1ページのQRコードを利用すれば、鮮明な画像を見ることができ、様々な情報を知ることができますので、どうぞ活用してください。